



# 東京日々新聞

六百九十七号



蕙齋芳樂



度會縣下志摩の國  
甲賀の浦に鷲すもて暴風雨  
の共折れ不斗して浮と出よ  
事有り。全身海草觸具附て。

滴巻く波間小彼の鷲が現を出て口と○

一話あり。何方の浦と船出せ。商船  
一巖よひはしに形相お折々船と  
獲一人被害も事あり。近頃良お

五月の事ありたり  
温克堂競吟誌  
墨陀西岸  
○開猛火に恨  
きて海中へ飛入る船  
子とカバと忖其恐一さふ  
教巨んと近寄五船も逆散り  
一浮屠師が説る幽冥の有様  
アヤとてを思い思われり。炎ハ  
益々激くあり。船を跡なく焼  
失く。壺人中助五人あり。本年

甲賀具足居

渡辺彫栄

